

2024年8月5日

バーテックス・インベストメント・ソリューションズ株式会社

足元の金融市場の急変動に関するお知らせ

- 日銀による継続利上げ姿勢、米経済指標の悪化を受けた米景気減速懸念の高まり等を背景として、足元の金融市場では投資家のリスクオフ姿勢が高まっています。
- 日米株式市場は大幅に下落、為替市場では円高ドル安が急速に進行したことに加え、安全資産へのシフトから日米国債利回りも急低下（価格は上昇）しています。

<金融市場の急変動の主な要因>

- ① 日銀の継続利上げ姿勢と米国における利下げ観測の台頭
 - ② 米経済指標の予想以上の悪化を受けた米景気減速懸念の急速な高まり
- ◆ 7/31の金融政策決定会合において、日銀は段階的な国債買入れの減額および政策金利の引き上げを決定しました。会合後の植田総裁の会見を受け早期の追加利上げ観測が高まったことに加え、同日付でパウエルFRB（米連邦準備理事会）議長が9月に利下げを行う方向性であることを示唆したことから、日米金利差縮小に対する見方が台頭し、円高ドル安・日本株安が急速に進行しました。
- 更に、8/1に発表された米製造業景況感指数（46.8）の下振れや米新規失業保険申請件数（24.9万人）が約1年ぶりの高水準まで増加したこと、8/2に発表された米雇用統計で失業率（4.3%）が上昇したことを受け米景気減速に対する警戒感が急速に高まる等の事象が立て続けに起こったことから、足元で積み上がっていた投資ポジションを解消する短期的な動きが相場の下落に拍車をかけ、売りが売りを呼ぶ展開となっているものと思われます。
- なお、8/5の日経平均株価の終値は前週末比▲4,451円の大幅安となるなど、ブラックマンデー（1987年）に次ぐ下落率（▲12.4%）となりました。
- ◆ こうした悪材料を消化しつつも、当面は相場の変動性が高い状況が見込まれますが、投資ポジションの解消等の短期的な動きが一巡した後は、市場は徐々に落ち着きを取り戻してくる可能性が高いと考えています。



（出所） Bloombergのデータをもとにバーテックス・インベストメント・ソリューションズ作成

<参考> 日経平均株価の歴代下落率ランキング（1970年以降）

	日付	終値	前日比（円）	下落率
1	1987/10/20	21,910.08	-3,836.48	-14.90%
2	2024/08/05	31,458.42	-4,451.28	-12.40%
3	2008/10/16	8,458.45	-1,089.02	-11.41%
4	2011/03/15	8,605.15	-1,015.34	-10.55%
5	2008/10/10	8,276.43	-881.06	-9.62%
6	2008/10/24	7,649.08	-811.90	-9.60%
7	2008/10/08	9,203.32	-952.58	-9.38%
8	1970/04/30	2,114.32	-201.11	-8.69%
9	1972/06/26	3,369.64	-293.52	-8.01%
10	2016/06/24	14,952.02	-1,286.33	-7.92%

（出所） Bloombergのデータをもとにバーテックス・インベストメント・ソリューションズ作成

【本資料の利用にあたっての留意事項】

- 当資料は、バーテックス・インベストメント・ソリューションズ株式会社により情報提供を目的として作成された資料であり、勧誘を目的としたものではありません。また、法令等にもとづく開示書類ではありません。
- 投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると判断した情報等から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また運用実績等の記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

(委託会社)

バーテックス・インベストメント・ソリューションズ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 3355 号

加入協会 一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会